


2020年8月20日

全日本学生ハンドボール連盟  
役員・専門委員 各位殿

全日本学生ハンドボール連盟  
会長 迫本 淳一  
副会長 福地 賢一  
理事長 松井 幸嗣



高松宮記念杯 男子第63回・女子第56回  
2020年（令和2年）全日本学生ハンドボール選手権大会中止について

謹啓

立秋が過ぎ、あと数日で処暑を迎えようとしている中、依然として猛暑日が続いておりますが、過日は九州学連より提出された2020インカレ具申書の件について、ご協力を賜り有難うございました。

皆様方にご意見等を賜りました件、昨19日に締切りさせていただきましたが、何名か無返信の方もおられました。九州学連の具申書に対して理解として対応。各位の中止に理解と解釈、会長とも協議の結果、今回2020高松宮記念杯男子第63回・女子第56回・令和2年度（2020）全日本学生ハンドボール選手権大会は九州学生ハンドボール連盟の具申書通り中止とさせて戴く事を決定いたしました。何かと諸々お気遣いを賜りましたが、有難うございました。

武漢型・欧州型に加え新たにウイルスの変質も認められる報道がなされ未だ、終息の見通しが立たず残念ながら今回の判断となりましたが、ご理解を賜り今後共よろしくお願い申し上げます。

なお、斯様な状況下では国体の延期などもあり、現況、日本協会主催の日本選手権大会の開催か否かも確認できず、開催の場合は学連推薦大学の問題・その他もあり、諸般の事情を考慮し何らかの会議（メール・オンライン・対面）の開催を検討します。

最終学年の部員に関する要望なども出されておりますが、各地区学連で参加可能大学で何らかの対応（高校野球のような都道府県大会）も考慮してはといった意見も聞かれました。

取り急ぎ中止決定の連絡をさせて戴きますが、今後も本連盟含め斯界の発展の為に、ご協力方、よろしくお願い申し上げます。

末筆ながら、各位のご健勝にてのご活躍を祈念させて戴き失礼いたします。

謹白

2020年8月26日

九州学生ハンドボール連盟  
加盟大学のチーム関係者の皆様

九州学生ハンドボール連盟  
理事長 三輪 一義

### 2020 全日本学生ハンドボール選手権大会（熊本インカレ）中止について

昨年度末から我々の日常生活を奪った新型コロナウイルスは、8月に入っても収束の気配をみせないまま、人口集中の大都市圏だけでなく、九州8県でも毎日250人を越える感染者が発生し、県単位での緊急事態宣言の発令にまで至っております。

地域によって様々に温度差はありますが、普段の大学部活動にも制限が加えられて、まだ練習再開が出来ない大学や、一旦活動が許された大学でも感染者発生による大学封鎖等により、再びの活動中止を余儀なくされている大学も数多く見受けられます。8月下旬から順次開催が計画されておりました全国8学連の秋季リーグも開催中止が相次ぎ、代替大会等の見通しも立たない状況になっております。

九州学連主管により11月3日から熊本県で開催予定の全日本インカレについても、開催の可否について検討を重ねてきました。新年度になって、春季リーグや東西インカレが中止になる中で、何とか4年生を中心とした学生選手の気持ちを思い、開催県である熊本県ハンドボール協会とも協議をしてきました。

8/11付けで九州学連として<開催中止>の結論に至り、8/20付けで全日本学連より正式に「熊本インカレの中止」が決定されました。（別添資料参照）

新年度になってから学連としての公式試合が1試合も無いままの選手の皆さんの気持ちを考えれば、「苦渋の決断」とか「断腸の思い」などの言葉で表すことも憚られるほど、その失望や落胆は大きいものでしょう。特に最上級生の方々においては、大学でのゲームにおいてキャプテンシーを発揮してチームを引っ張る機会に一度も恵まれないまま、全力での大学ハンドボール活動が幕を閉じることになってしまうことが、我々指導者も同じくらい悔しくてしょうがありません。

今年のチームで大会が無かったとしても、ここまで築いてきた仲間との思い出まで無くなる訳ではありません。ここまで一緒に練習してきた時間とそれに比例する仲間との絆は、この後の人生に必ず大きな影響を与えます。できれば、その仲間との絆(きずな)を大切に、卒業後も何らかのハンドボールとの関わりをもって人生を歩んでくれることを期待しています。